

「持続可能なパームオイルのための原則と基準」採択と日本企業への提言

(株)CSR経営研究所
(財)地球・人間環境フォーラム
足立直樹

パームオイルをめぐる様々な課題

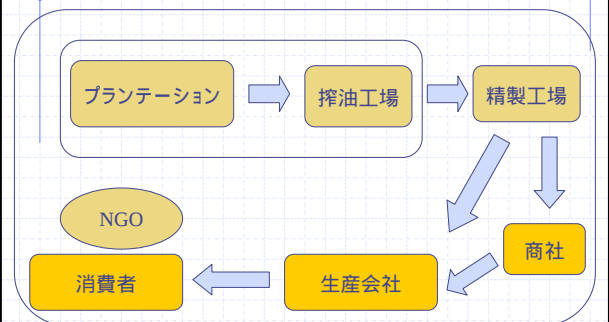
- ◆ 増える需要
 - 植物性油脂
 - 安価
- ◆ 大規模な開発 (森林からの転換)
- ◆ 環境面での問題
 - 森林伐採、生物多様性
 - 水質汚染 (表土流亡)
 - 農薬汚染、肥料汚染
 - GHGの排出 (搾油工場)
- ◆ 社会面での問題
 - 労働条件
 - 外国人労働者 (不法移民)
 - 土地の権利 (先住民)

日本の企業・消費者に求められていること

- ◆ 原材料についての知識
 - イギリスの貿易企業でも産地について知識があったのは、全体の17%のみ
- ◆ ボイコットの困難性
 - 多様な商品に含まれている
 - 他の油に消費が移行し、労働者が貧しくなるだけ
- ◆ RSPOへの参加の、政府、業界、NGOへの働きかけ
 - バイヤー、消費者からの要求が生産者を動かす

出典: "Greasy palms – Palm Oil, The Environment and Big Business" FoE

パームオイルの調達過程



RSPO



Roundtable on Sustainable Palm Oil

- ◆ 持続可能なパーム油のための円卓会議
- ◆ WWFとパーム油関連企業で開始
- ◆ 目的: 「パーム油の供給関係者間の協調とステークホルダーとの対話により持続的なパーム油の成長と消費を促進する」
- ◆ 2003年 最初の円卓会議
- ◆ 2004年 正式に団体登録
- ◆ 2005年 基本方針の発表、採択(RT3)

RSPOの会員

- ◆ 95会員
 - 生産者の約1/3をカバー
- ◆ マルチステークホルダー
 - 生産業者 (農園)
 - 加工業者 (搾油、精製)
 - 消費財生産者
 - 小売業者
 - 銀行・投資家
 - 環境・自然保護NGO
 - 社会・開発関連NGO
- ◆ 日本から
 - 不二製油、三菱商事、サラヤ

RT3(第3回円卓会議)

- ◆ 2005年11月22,23日 シンガポール
- ◆ 28ヶ国から300人以上が参加
 - サブチェーン全体をカバー
 - 欧州系が多い
- ◆ トピックス
 - 持続可能なパームオイル(SPO)の生産、消費の進展の報告
 - 基本方針(原則と基準,P&C)の検討・採択
 - P&Cの実施と検証



プログラム概要

- ◆ オープニング・セッション
 - P&Cの紹介
- ◆ Session1: P&Cの検討
- ◆ Session2: P&Cの実行
 - グループワークで課題抽出
- ◆ Session3: SPOの進展事例報告
- ◆ Session4: P&C実行の認証
- ◆ Session5: SPOの売買
 - グループワークで課題抽出
- ◆ クロージング・セッション
- ◆ 総会(会員のみのみ) - P&C採択

RSPOのスポンサー



生産者(アマゾン)



消費財メーカー



銀行(組合)



有機生産者(コロンビア)



アグリビジネス(害虫防御等)

AGROPALMA



- ◆ アマゾンの持続可能な開発を目指す農業会社
- ◆ オイルパーム農園の経営
- ◆ 唯一のISO9001, 14001, OHSAS18001取得農園
- ◆ 有機認証 Organic Seal by Instituto Biodinamico

<http://www.agropalma.com.br/en/>

DAABON



- ◆ Daabon Organic CI Tequendama
- ◆ オーナー経営、現在3代目
- ◆ コロンビアで有機栽培パームオイルのパイオニア
- ◆ 生産、搾油、精製、販売

<http://www.daabonorganic.com/>

<http://www.daabonorganic.com/doj.htm>

Syngenta



- ◆ アグリビジネス(技術開発)
- ◆ 害虫防除のリーダー、種子の供給(世界3位)
- ◆ 売上高 73億ドル(2004)、従業員19,000人(90ヶ国)

<http://www.syngenta.com/>

Unilever



- ◆ 世界最大クラスの消費財メーカー
- ◆ 食品、衛生、美容、...
- ◆ クノール、リプトン、ダブ、ラックス
- ◆ 売上高 420億ユーロ(2004)、従業員223,000人(100ヶ国)
- ◆ 世界のパームオイル使用量の4%
- ◆ RSPO会長

<http://www.unilever.com>

Rabobank



- ◆ 農業を主体とした銀行(協同組合方式)
- ◆ オランダで105年の歴史、最大の金融機関
- ◆ 現在、世界40ヶ国で営業、世界50大金融機関
- ◆ Moody's、Standard & Poors で唯一AAAの商業銀行
- ◆ 食品と農業部門への貸出に注力

<http://www.rabobank.com/>

RT3の成果

- ◆ P&Cの採択
 - 圧倒的多数の賛成
 - わずか2年でまとまる
- ◆ 今後2年間の試行期間
 - 14団体が参加
 - 検証プロセスの検討
- ◆ 今後の課題
 - 認証方法(コスト、インセンティブ)
 - 小規模農園をどう巻き込むか
 - 消費企業をどう巻き込むか
 - NGOはいくつかの問題の積み残しを指摘

RSPO 原則と基準(P&C)

- ◆ 8原則と39基準
 1. 透明性の確保
 2. 関係法等の遵守
 3. 長期にわたる経済的・財務的な実現性
 4. 農園と搾油過程での最良技術の使用
 5. 環境責任と資源、生物多様性の保全
 6. 従業員と影響を受ける地域住民への責任ある配慮
 7. 新規プランテーションの責任ある開発
 8. 主要な活動エリアにおける継続的取り組み

<http://www.sustainable-palmoil.org/>

トピックス

- ◆ P&Cの実行
 - 先行事例
 - 試行期間
- ◆ 手法整備
 - 国ごとの解釈
 - 行動規範
 - 認証
 - トレーサビリティ
 - 実施方法
 - サプライチェーン
- ◆ 資金
 - 試行の資金援助
 - プレミアム

P & Cは既に一部検証済み

- ◆ 生産者
 - Daabon
 - PT SMART
 - United Plantations
 - Guthrie
 - Golden Hope
- ◆ 加工 & 流通業
 - Migros
 - Unilever
- ◆ 金融
 - Rabobank

NGOからの指摘

- ◆ NGOはいくつかの問題の積み残しを指摘
- ◆ 危険な農薬の使用を許容
- ◆ 先住民へのコミュニケーション不足
- ◆ HVCF (保護価値の高い森林)

トレーサビリティの確保

- ◆ ProForestが中心に検討開始済み (実施はまだ)
- ◆ Segregation (分離方式)
 - Bulk commodity (混合)
 - Identity preserved (農園まで識別可能)
- ◆ Controlled mixing (管理混合方式)
 - Mass balance (%-in,%-out) cf. FSC
 - % labelling
- ◆ Book and claim (台帳方式)
 - cf. グリーン電力

今後の課題

- ◆ 普及活動
 - ルールを気にしない企業
- ◆ 広報・コミュニケーション
 - 小規模農園
 - 消費者
- ◆ 持続可能であるためのコスト
 - 実行(含む試行)
 - 管理コスト
- ◆ 共通責任と相互の支援
 - 行動規範
 - 建設的なコミュニケーション

RSPOの今後の計画

- ◆ P & Cの実行
 - 14メンバー
- ◆ 行動規範(CoC)作り
- ◆ 認証ワークグループ
 - 認証システムの検討

日本の課題

- ◆ 企業
 - 原料の流れの把握
 - 生産現場における問題の把握(SCM)
 - RSPO等への積極的な参加
 - SPOの確保
 - トレーサビリティの確保
 - プレミアムをつけられるか?
 - 消費者、ステークホルダーへの普及
- ◆ 消費者
 - SPOの選択
 - プレミアムの支払い

ありがとうございました

ご意見、ご質問は...
adachi@csr-i.jpまで



サステナ・ラボ
持続可能な社会を作るためのブログ
<http://suslab.seesaa.net/>
ほぼ毎日更新中です